

種類	説明
切創（切り傷）	鋭利な刃物による傷。組織の挫滅は少ないが、鋭的に血管が切断されるため出血は多い。異物の混入が少ないため、深く新しい傷の場合、縫合が必要になる。
刺創（刺し傷）	先端の鋭い物体が突き刺さって生じる傷。傷口は狭いが、深いのが特徴。
挫創	鈍的外力によって生じる皮下組織にまで及ぶ傷。多くは凹凸で不整形。出血は少ないが、周囲の組織も挫滅しているため、損傷した皮膚の治療が必要となる。
擦過創（擦り傷）	比較的鋭利な外力が皮膚と擦れて生じる。擦れた方向に線状にできる、比較的浅い傷。
咬創（噛み傷）	歯牙で咬まれたり、噛みちぎられてできる傷。口腔内は常在菌が存在するため、感染の危険性が高い。医療機関で適切な治療を受ける必要がある。
その他	裂創・割創など